

# 飢餓をゼロに！

長野県上田染谷丘高校 1年 6組 大曾根 飛菜

## この課題に関わるSDGsの番号



## テーマ設定の理由

貧富の差が大きく、食べ物がたくさんあり捨てたりする人もいるのに食べ物が足りず困っている人が多くいる

「平等」を目標にしているのに日本の中だけでも不平等が生まれているからなくしたいと思ったから

## 現状

- ・日本には栄養不足の飢餓者が2000人弱  
食料不足の飢餓者が20人程度いる
- ・貧富の差が大きく平等に食料が手に入らない
- ・食料不足で困っている人が多くいる
- ・食料自給率が低い（先進国の中で最低）
- ・世界では9人に1人が飢餓で苦しんでいる人がいる

## 課題

- ・賞味期限切れの食べ物、食べ残しの廃棄が増加傾向にある
- ・耕作放棄地が増加し養うべき人口が増加している中、食料が減少している
- ・農家の人手が減少している

## 食料自給率

現在の日本の食料自給率は38%

海外だとカナダ 264% オーストラリア 224%

アメリカ 130% フランス 125% となっている

## 日本の食料自給率が低い理由

### ・食生活の変化

主食として自給率の高かった米から日本の国土の特徴から

作りにくい小麦を使ったパンや麺が増えた

### ・外食の増加や冷凍食品の普及

外食チェーン店や食品加工会社は原材料を安く大量に手に入れるため

海外の輸入品に頼る傾向がある

# 解決策

貧富の差を少なくするために働く場所に困っている人の環境をつくる

→職場の確保 子供を預けられる場所 .....

食料が足りている人が『買えない人がいる』という問題意識を持ち捨ててしまうものの寄付をできる場所をつくる

食料自給率を上げる

## 感想

日本にいる栄養、食料不足による飢餓者が思っていた以上に多かった

『平等』と言いながらやっぱり不平等になっていることがたくさんあった

自分で世界の問題を考え解決策を考えることでより自分の周りの問題について関心が深まったと思う

自分で考えることでもっと自分にできることを探して実行できるようにしようと思った

少しずつでも『飢餓をゼロに』に近づいていったらいいなと思う